

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 千葉県 】

1 実践テーマ	【 II III IV 】
2 実施対象者	学校名 千葉県立千葉女子高等学校 対象学年 全校 人数 947人
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（芸術、家庭、体育、総合、道徳） ② 行事名（ ） ③ その他（生徒会活動、部活動） (2) 地域における活動 ① イベント名（小中台ファミリーフェスティバル等） ② その他（世界女子ソフトボール選手権大会プレイベント等）
4 目標 (ねらい)	オリンピックの3つの価値やパラリンピックの4つの価値、東京2020大会ビジョンに基づいたプログラムを展開することにより、次世代を担う生徒に、国際感覚やスポーツの楽しさ、ボランティア精神、障がいのある方への理解・配慮等を身に付けさせる。
5 取組内容	<p>【台湾高雄女子高級中学来校】</p> <p>9月、台湾から高雄女子高級中学から、98名の女子高生が来校。芸術、家庭、体育の授業を通して日本の伝統・文化を体験していただいたり、オーケストラ部や合唱部の演奏等による歓迎会を通して、交流を深めた。</p> <p>特に、千葉女子高校の伝統ダンス「ファウスト」を見学していただいたり、高雄女子の生徒によるマーチング発表を全校生徒で応援する等、お互いの国の文化・伝統を学び合</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;">   </div>

うとともに、千葉女子高生の心のこもった「おもてなし」をプレゼントすることができた。



【世界女子ソフトボール選手権大会プレイベント】

平成 30 年 8 月に千葉県で開催される第 16 回世界女子ソフトボール選手権大会の 1 年前プレイベントに、オーケストラ部がボランティア参加した。

オーケストラ部による演奏でイベント全体を盛り上げる他、受付、誘導、大会ロゴマークの紹介



等、多岐にわたり運営のお手伝いを行った。本大会のイベントにもボランティア参加の予定。



【オリンピック講演会】

12 月、トライアスロンのオリンピック 上田藍選手による講演会「向上心に限界はない」を実施。上田選手ご自身の経験をもとに、千葉女子高生の夢や希望を応援していただいた。

さらに講演会終了後には、千葉女子高生によるサプライズ企画「上田選手の東京オリンピックでのご活躍を応援する会」を行った。



	<p>オーケストラ部による応援演奏、家政科からの特製洋菓子と手作りメダルの贈呈、合唱部を中心に会場生徒全員による千葉女子高校の校歌斉唱等、上田選手へ千葉女子高校の「おもてなし」の心をプレゼントすることができた。</p> 
<p>6 主な成果</p>	<p>ボランティアに積極的に参加する意欲と仲間と協力しながら主体的に活動することができる生徒を育成することができた。 また、生徒が自国の伝統・文化を再認識するとともに、他国の伝統・文化を尊重する姿勢・態度を育成することができた。</p>
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>オリンピック・パラリンピック教育を通して、生徒の人間的な成長を図るために、生徒に企画・運営段階から携わらせることにより、生徒の主体的な活動を推進した。</p>
<p>8 主な課題等</p>	<p>事業を実施する上での経費、特に生徒の交通費や楽器運搬費等について、生徒負担をいかに軽減するかが課題である。</p>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<p>オリンピック・パラリンピック教育の意義をふまえ、本校の特色を生かし、部活動、家政科等による、ボランティア活動、国際交流等を推進する。</p>